

Montessori ちゃいるどほうす草薙事業報告書

令和5年3月31日
地球の子ども株式会社
代表取締役 乾 泰代

1 保育理念

『Montessori ちゃいるどほうす』は生命の保持と情緒の安定を土台とし、人・もの・自分の3つの視点、および保育指針の5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の相互関係、総合的関わりを重視している。

モンテッソーリ教育法と自然体験活動を融合させ、世の中のすべての事象に対する興味関心を大切に、実体験を通して、子どもたち自身が自らの『生きる力』を発見し、伸ばしていくことのできる環境を愛と知識を持って提供する。

2 モンテッソーリ教育とは

マリア・モンテッソーリが120年以上前に子どもを観察し子どもの姿を通して提唱した『自己教育力』と『環境』を重視した教育法であり、その理論の正当性は医学や科学の進歩によっても証明され、現代では世界共通で教育の基本となっている。

運動・言葉・意志・知性・社会性・感覚等の発達の課題は、すべての子どもたちに共通しており、その順番はあらかじめ子どもの遺伝子にプログラムされている。すべての子どもたちが生まれながらにも『自己教育力』を発揮しながら発達を遂げていくとともに、自分自身の五感を働かせ、動きを通して学んでいくことのできる『安心安全な環境（人、もの、こと）』の保障を大切にする教育法である。

3 事業目的と役割

国から示された「子ども子育て新制度」に基づき養護と教育の一体化を図りながら、子どもと大人が主体的に関わる保育を行うとともに、地域の子育て支援を充実させる。

4 保育所の運営

(1) 沿革 ・平成26年4月 小規模保育所 Montessori ちゃいるどほうす草薙 開園

・平成27年11月 地球の子ども株式会社設立

(2) 開所日 月曜日～土曜日

(3) 開所時間 7:30～18:30

(4) 休園日 日曜日、国民の祝日及び休日

年末年始（12月29日～1月3日）

法人が特別必要と認めた日

(5) 年齢別入所児数（令和5年3月31日現在）

0歳児（プーポ） 7名

1歳児（ピッコロ） 6名

2歳児（ピッチーノ） 6名

合計19名

(6) 職員数（令和5年3月31日現在） 12名

施設長1名 園長1名

常勤保育士5名 パート保育士2名 調理員1名

栄養士1名

バイリンガル講師1名

(7) 職員資格等

- ・保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・モンテッソーリ教育専門教師
- ・栄養士・調理師
- ・ベビーマッサージ講師・子育て支援員
- ・保育所長研修修了者
- ・保育所主任保育士研修修了者・衛生推進者

(8) 職員会議の開催状況

- ・職員全体会議（年1回3月） 園の運営方針について確認
年間計画、職員配置、担当・役割分等の検討
- ・業務会議（月1回 第4火曜日午睡時） 各行事の確認・内容検討・反省
月案に基づく環境会議
- ・安全管理、ヒヤリハット、事例検討を行う。
- ・リーダー会議（第2火曜日午睡時） クラス情報交換
園運営に関する事例検討
- ・担当者会議（毎週木曜日午睡時） 年間計画に基づく月案、週案、
- ・環境会議（毎週木曜日午睡時） 子どもの発達に合わせた環境作りを進めた。
- ・給食会議（クラス毎4ヶ月に1回火曜日午睡時） 子どもの給食時の様子等の把握。

(9) 職員研修についての取り組み

円滑な運営と職員の質の向上を図る為、職員全員参加の職員研修及び園内外研修他各種研修を積極的に実施

- ・モンテッソーリ実践講師による保育現場での実践研修（毎月1日回）
- ・外部専門講師によるモンテッソーリ実践オンライン研修（1歳児クラス以上、月1回）
（研修の流れ：歳児毎実践研修の企画書作成⇒保育室での実践・専門講師の参観
⇒振り返りのミーティング⇒報告書作成）
- ・外部バイリンガル専門講師による実践オンライン研修
（研修の流れ：歳児ごと lesson plan 作成⇒保育室での実践・専門講師の参観
⇒フィードバックミーティング⇒報告書作成）
- ・北関東モンテッソーリ教育研究会0～3歳コース受講 対象職員1名

(10) 保育計画・記録について

一人一人の成長発達にあった環境づくりをする。

- ・児童票に基づく月案作成（毎月）
- ・月案に基づく週案作成（毎週木曜日の午睡時）
- ・日報（観察記録0歳～2歳）
- ・午睡チェック表（毎日0歳児）
- ・食物アレルギー調査票（毎月対象児）
- ・児童票記録（毎月）
- ・ヒヤリハット（随時）
- ・安全管理 危機管理チェックリストリスト（毎月）
- ・次年度引継ぎ表の作成（全園児3月作成）

(11) クラス編成

プーポ組（0歳児）ピッコロ組（1歳児）ピッチーノ組（2歳児）

環境との信頼関係・運動の獲得・言葉の獲得・身辺自立を目標に、個別の発達段階に合わせた保育を推進するため、個人差の大きい0歳から3歳までの成長を4段階に分けて環境を構成し、個々の発達段階に応じた保育環境の実現を図る。

- 1段階目 歩けるようになる
- 2段階目 10歩くらい安定して歩けるようになる。
- 3段階目 座って手指の活動ができるようになる。言葉が増える。
- 4段階目 着脱、排泄、食事など日常生活の自立に向かって、自分の事を自分でやりたいと思うようになる。

(12) 給食の実施

安心安全な楽しい給食の提供に努めるとともに、子どもが生活と遊びの中で意欲を持って食に関わる体験を積み重ねる。

- （0歳児） 園児の発育状況に合わせ、離乳食から普通食への段階別給食の提供
- （1歳児以上） 園児の発育状況に合わせ、完全給食の提供
- （2歳児以上） バイキング給食→(コロナ対策として一時停止)
- （全園児） おやつ提供
- （特別給食） 行事ランチ・年度末お弁当ランチ・戸外活動用お弁当
豊かな食の環境を目指し、トライアルメニューとお楽しみおやつを提供を継続

(保護者) 給食参観会→(コロナ感染予防対策として中止)
給食献立の毎月配布
本日の献立の写真掲示および明日の献立表示(毎日)

食事が子どもの身体だけでなく健やかな心の発達を促す場であると捉え、以下のことを大切にしている。

- ① 食事が楽しい時間となるよう努める。
- ② 離乳期を大切に過ごす。
- ③ 子どもが自分の量や、好みの選択ができるよう考慮する。
- ④ 子どもが「食べたくない」時があることを大切に考える。
- ⑤ 守るべき食事のルールを伝える。
- ⑥ 食べ物を粗末にしない。
- ⑦ 食事を処罰に使わない。
- ⑧ 栄養士・保育士による献立(食品および栄養素)の説明
バイリンガル Day は英語で紹介

(13) 健康管理

- ・ 医師による園児の健康診断 (村上小児科：村上仁医師 年2回)
- ・ 歯科医師による園児の歯科検診 (かめやま歯科：亀山太一医師 年2回)
- ・ 緑茶うがいの実施 (乳児クラス)
- ・ 手洗い、消毒の徹底
- ・ 身体測定 (月1回)
- ・ 職員の定期健康診断 (年1回)
- ・ 職員の検便検査 (月1回)
(赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌0-157・腸チフス・パラチフス)
- ・ コロナ感染予防対策として健康チェック表の記録開始

(14) 保護者との連携

保育は保護者と共に子どもを育てる営みであり、子どもの24時間の生活を視野に入れ、保護者の気持ちに寄り添いながら家庭との連携を密にすることが大切である。積極的に乳幼児の子どもを育ちを支え、保護者の養育力向上につなげていけるように以下の方法で『食事』『生活リズム』『衛生』『健康』『子育てについての精神的不安解消』のアドバイスをを行う。

- ・ 相談室の利用(常時)
- ・ ホームページでの情報公開と更新(常時)
- ・ コロナ対策として玄関前特設掲示板での情報公開と更新(常時)
- ・ 連絡帳(随時)
- ・ 園だより(月1回)今年度よりモンテッソーリ教育コラム開始
- ・ クラスだより(季節ごと年4回)
- ・ その他お知らせ(不定期)
- ・ 苦情解決システムの継続
- ・ 地域の各機関との連携
- ・ 面談(必要に応じて随時)
- ・ 年度末アンケートの実施

(15) 発達支援(個別の支援の検討・計画・実施・反省、言語指導)

すべての子どもにそれぞれの個性があるように、その成長の仕方も様々である。同じ環境であっても困り感を抱え、それをうまく表現することが苦手な子どももいる。保育園という集団生活の中で、個々の成長や気持ちに寄り添い、子どもが自立していくために必要な支援を保護者、保育士、指導担当との相談の上、個別に支援を行う。

(16) 地域との交流

- ・ 近隣住人
- ・ 保育実習受け入れ(常葉大学1名・東京医療秘書福祉専門学校1名)

(17) 施設の整備・管理・安全点検

- ・ 1階保育室(棚の取り付け)
- ・ 施設整備(玄関回り)

(18) 機能強化推進事業 総合防災対策のための必要な修繕・物品管理

- ・ 食料・水の点検(全園児・全職員3日分点検済み)

- ・災害時用品の点検
- ・AEDの設置1台（毎年更新）の点検

(19) 非常災害防止の実施

- ・避難訓練 毎月1回（地震 火災 不審者）
様々な状況に応じた訓練をおこなった。

(20) 第三者委員会

- ・掲示板、ホームページによるご意見・ご要望・苦情窓口設置
今年度苦情なし

(21) 感染症予防対策

- ・次亜塩素酸を使い床、トイレ、教具の消毒（1日2回実施）
- ・おむつ交換時、使い捨て手袋を使用
- ・紙おむつ自園処分（持ち帰りなし）
- ・加湿空気清浄器を各クラスに設置 常時稼働
- ・温湿度計
- ・洗濯物を分けて洗濯（床拭き、床以外、次亜塩素酸用雑巾）
- ・細めな水分補給の実施
- ・手洗い、うがい指導の実施
- ・職員用ウエストポーチの購入と配布
- 【新型コロナウイルス感染予防対策として関係するもの】
- ・健康チェック表の記録
- ・玄関前での園児の送迎
- ・バイキング給食の中止
- ・給食時の間隔をあけて対面にならないテーブル使用
- ・黙食の徹底
- ・乳児の歯みがきの中止
- ・職員のマスク着用
- ・消毒液を各クラスと玄関ドア前に設置
- ・接触型体温計の再導入
- ・フェイスシールド、不織布マスク（大人用 子供用）の購入
- ・緑茶うがいの実施（乳児）
- ・年間行事の見直し

(22) 防災対策

- ・首藤商会の第三者確認

(23) 行政監査（11月）

5 令和4年度保育目標

- 『自分のことが自分でできる子』
- 『いろいろなことに挑戦できる子』
- 『やさしく強い心を持った子』

3つの保育目標を柱として新保育所保育指針の5領域である健康/人間関係/環境/言葉/表現を基に、歳児別目標を設定した。

歳児別目標

- 0歳児
 - ・保育士と基本的信頼関係のもと、色々な遊びを楽しむ
 - ・一人ひとりの生活リズム（食事、排泄、睡眠）で心地よく過ごす
 - ・歩行ができるようになり、探索活動を盛んに行う
- 1歳児
 - ・探索活動を楽しみ、周りの環境に興味を持つ
 - ・保育士と一緒に食事や排泄、着脱を繰り返す中で自分で出来る楽しさを味わう
 - ・自分の思いや気持ちを保育士に伝えようとする
- 2歳児
 - ・全身(体・指先)を動かして保育士、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ
 - ・基本的生活習慣(排泄・着脱・身支度)の自立を目指し身の回りのことを自分でしようとする
 - ・ごっこ遊びや模倣遊びを楽しみ友だちとの関りを広げる
 - ・自分の思いを言葉や行動で伝える

6 特別教育

(1) モンテッソーリ教育

子どもの発達の課題は共通していても、発達の手順や個々の興味関心は様々であるという『モンテッソーリ教育法』の考え方をベースに、子どもが個々の発達に見合った環境と主体的に関わりながら成長できるように環境を整えた。

1年を通して様々な教具や教材に触れ、経験を積み重ねあらゆることに視野を広げながら、「自分で出来た」という自信と意欲向上に繋げていった。
毎日の生活の中で、発達段階に応じて以下の分野の活動を展開した。

教育分野	活動内容
日常生活の練習	生活に必要な活動を通して自分の身体を意志通りにコントロールする能力を養う。
感覚	感覚体験の整理をしながら観察力や思考力を身に付け、感覚器官を洗練していく。
言語	語彙を豊かにしながら、最終的には文法を意識した母語の理解力と表現力を養う。
文化	歴史、地理、地学、動・植物、等、多様な興味の種蒔きをしていく総合学習の場
平和	他者との違いを受け入れ、互いに尊重し協力しながら思いやりや平和への思いを育む。
音楽	世界の音楽を楽しみ、聴く事、歌う事、踊る事、楽器を鳴らす事などで表現する。
美術・造形	目と手の協応動作の獲得を促し、思いのまま自由に表現する事を楽しむ。

(2) 自然教育

子どもたちが自然の不思議さや素晴らしさに出会い、発見する機会をできるだけ多く提供し、ありのままの自然を体験しながら、自然の一部である自分を愛する心と尊い自然を守る気持ちを育てていけるよう、様々な自然体験を取り入れた。

(飼育した生物)・カタツムリ

プランター

月	内容
4月	夏野菜の植え付け (1, 2歳児) (キュウリ・ピーマン・オクラ、ナス)
6月	ジニア、千日紅植栽 (1歳児) ★ジャガイモ堀り : (1, 2歳児) 夏野菜収穫(1, 2歳児) ○キュウリ : 8日の献立「中華キュウリ」の食材として使用。 ○ナス、ピーマン : 収穫後は、順番に持ち帰る。
7月	○ズッキーニ : キュウリと触り心地、匂い、断面を比較 ○オクラ
9月	冬野菜植え付け (1, 2歳児) (キャベツ・ハクサイ・ブロッコリー・カリフラワー)
10月	ビオラ植栽 (2歳児)
11月	★さつまいも堀り (1, 2歳児) チューリップ植栽 (1, 2歳児) 冬野菜収穫 ○キャベツ : 2歳児収穫 葉を試食 ○ブロッコリー : 1歳児収穫 レンジでチンして試食
12月	○カリフラワー : 2歳児収穫 レンジでチンして試食 ○ハクサイ : 1歳児収穫 発育不足で収穫できなかった

★ : 塚本農園での体験

散歩

杉道公園、一里山東公園、一里山西公園、ローソン上公園、新草薙公園、えんぴつ公園、ひょうたん塚公園、村上医院裏遊歩道、草薙駅、園周辺、

遠足

4月 親子イチゴ狩り遠足

川遊び

7月～9月 塚本農園近くの長尾川の親水公園にて川遊び (2歳児)
(天候不順のため実施できず)

(3) バイリンガル教育

これからの国際社会を生きていく子どもたちのための外国語体験プログラムを展開する

対象	0～2歳児
目的	<ul style="list-style-type: none"> 日本語以外の言語に親しむことを通して、他者との違いや文化の多様性への興味関心を育む。 英語を使ったコミュニケーションを楽しむことを通して、積極的に他者と関わろうとする意欲を育む。 日本語以外の言語を使う体験をし、国際社会で活躍していくための素地を育む。 フォニックス音を体験できる LessonPlan 環境との整備
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 日本語以外の言語を母国語とするバイリンガル講師と毎日一緒に生活し、日常的に関わることでできる環境を用意した。 バイリンガルの時間を設定し、英語にふれ、発音を聴きとったりするとともに幼児クラスでは、聞いた音と文字とを結びつける活動を行った。(フォニックス) 日常生活の中で、大人も子どももバイリンガル講師との簡単な英語でのコミュニケーションを楽しみ、「伝わって嬉しい」体験を増やした。

(4) ボール遊び (ボルビ)

対象	2歳児
目的	・ボールに出逢い体感を育む
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 月に1回 1回45分程度 1歳児、2歳児合同もあり 外部講師による実施 (お茶コーチの高橋先生)

(5) 日本文化体験

対象	2歳児
目的	・日本独特の美しく豊かな文化を体験し、和を尊ぶ心を養う
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 2歳児クラス 月1回 (フラワーアレンジメント) 30分程度 5/26・6/16・7/28・8/25・9/8・10/13・11/24・12/15・1/12・2/9・3/23 外部講師による実施 (八木まどか先生)

7 特別教育会計報告

1) モンテッソーリ教育費会計

収入			支出		
項目	金額 (円)	備考	項目	金額 (円)	備考
保護者徴収費	208,591	毎月一人 1000 円 (今年度はコロナ対策による自粛期間は日割り計算)	外部講師代	200,000	英語・言語・感覚・絵本教材他
			教具代金	100,000	
			職員研修参加費	90,000	
計	208,591		計	390,000	

園負担 181,409 円

(2) バイリンガル教育費会計

収入			支出		
項目	金額 (円)	備考	項目	金額 (円)	備考
保護者徴収費	195,591	毎月一人 1000 円 (今年度はコロナ対策による自粛期間は日割り計算)	外部講師代 教具代	200,000 100,000	英語・言語・ 感覚・絵本教材他
計	195,591		計	300,000	

園負担 104,409 円

8 令和4年度主な行事

月	内容
4月	親子遠足イチゴ狩り遠足 (22日)
4月	こいのぼり集会 (27日)
6月	ジャガイモ掘り (2歳児) *希望者は親子で参加
7月	七夕集会 (4日) 積み木教室 (0～2歳児) (6日) 積み木のそのさんが来園
8月	スイカ割り大会 夏祭り (4日) 夏期希望保育 (6日～13日)
10月	落花生の収穫 (2歳児) ハロウィンパレード (28日) 地域の皆さんとの交流
11月	草薙と合同運動会: 中吉田公園 (2歳児以上) (1日) サツマイモの収穫 (1, 2歳児)
12月	クリスマス会 (25日)
1月	お正月遊び (1ヶ月間コマ・凧あげ等日本の伝統行事を楽しむ)
2月	節分 (3日) 新聞紙で作った豆まきを楽しむ
3月	ひな祭り (3日) はばたきの会 (17日) 3クラス時間差で行う お弁当ランチ (24日) 絵本「おべんとう」と同じ食材を食べる

9 職員処遇についての新たな取り組み

- ・職員退職金制度の整備 (中小企業退職金共済)